

平成 24 年度 自然史学会連合講演会

自然災害と ナチュラルヒストリー

主催 自然史学会連合 共催 栃木県立博物館

講演会プログラム

- 10:15-10:45 数 100 年おきに繰り返す大津波
—その時、生物は？
大越 健嗣（東邦大学）
- 10:45-11:15 東北地方太平洋地震とそれに伴う
津波が沿岸生態系に与えた影響
河村 知彦（東京大学大気海洋研究所）
- 11:15-11:45 標本レスキューの実際～津波に
遭った自然史標本を救う試み
鈴木 まほろ（岩手県立博物館）
- 12:45-13:15 東アジア新生代の植生と気候変動の
歴史—科博の植物化石コレクション
から
矢部 淳（国立科学博物館）
- 13:15-13:45 貞観 16 年 3 月の開聞岳噴火をめ
ぐって
鷹野 光行（お茶の水女子大学）
- 13:45-14:15 火山噴火と人々の生活—北関東地方
の噴火災害史を中心に
早田 勉（火山灰考古学環境研究所）
- 14:30-15:00 森林生態系における放射性核種の
移行
恩田 裕一（筑波大学）
- 15:00-15:30 河川生態系とカタストロフィー、
アユの視点から
井口 恵一朗（長崎大学）
- 15:30-16:00 富士山の噴火予知と被害想定の研究
佐野 貴可（国立科学博物館）

写真提供：早田 勉・大越 健嗣（敬称略）

日時 2012 年 12 月 1 日（土） 10:00～16:30

会場 栃木県立博物館 講堂 ※予約不要・参加費無料・定員 200 名

お問い合わせ：栃木県立博物館 028-634-1311 宇都宮市睦町 2-2

自然史学会連合 加盟学協会 <http://www.ujshn.org>

自然史学会連合は、日本に存在する自然史関係の学協会が作る連合体です。現在、39の学協会が加盟しています。

種生物学会◎植生学会◎植物地理・分類学会◎地衣類研究会◎地学団体研究会◎東京地学協会◎日本遺伝学会◎日本衛生動物学会◎日本貝類学会◎日本花粉学会◎日本魚類学会◎日本菌学会◎日本蜘蛛学会◎日本古生物学会◎日本昆虫学会◎日本昆虫分類学会◎日本植生史学会◎日本植物学会◎日本植物分類学会◎日本進化学会◎日本人類学会◎日本生態学会◎日本生物地理学会◎日本蕨苔類学会◎日本藻類学会◎日本第四紀学会◎日本地衣学会◎日本地質学会◎日本鳥学会◎日本地理学会◎日本動物学会◎日本動物行動学会◎日本動物分類学会◎日本プランクトン学会◎日本ベントス学会◎日本哺乳類学会◎日本陸水学会◎日本鱗翅学会◎日本霊長類学会